

タンチョウと“わたし”活動報告会の開催

タンチョウも住めるまちづくりの取組状況を町民向けに報告し、意見交換を行う活動報告会を開催

日時：令和2年1月18日(土)15:00～16:30 / 場所：長沼町民会館1階 大集会室

出席者：71名 ※地域づくり専門部会委員、町民等のほか、徳島県鳴門市より5名が参加し、終了後に取組の話題提供があった。

活動報告

タンチョウの関連商品の開発秘話と事業者の思い

○タンチョウソフト

(株)長沼あいす あいすの家本店 山口 幸太郎氏

ソフトクリームの曲がり具合でタンチョウのくちばしを表現している。そこに至るまで、苦労した。



○双鶴と雪、長沼丹頂鶴のケーキ、ポロシャツ

(有)森下松風庵 森下 伸氏

長沼丹頂鶴のケーキは、タンチョウを一つずつ手描きしているため、パティシエは苦労しているが、お客さんの評判は良い。



○夢馬追

ながめま農業協同組合 柴田 佳夫氏

タンチョウのロゴを使った第1号の商品。お酒らしくないパッケージにこだわった。



○タンチョウパン、ようふうの食パン

(福)長沼陽風会 山崎 昭二氏

見た目のほか、なによりパンのおいしさと、障害者支援施設として障がい者の方が作れるパンということにこだわった。



先進地視察報告 コウノトリと共生する兵庫県豊岡市



タンチョウも住めるまちづくり 地域づくり専門部会 東山 哲智氏

- 豊岡市では一見実現不可能な事業であっても、知恵とアイデアでハードルを突破していた。
- 生息環境専門部会とも連携しながら、タンチョウも住める農法を考えて、長沼町の農業を盛り上げていきたい。

タンチョウの見守り活動と先進地視察報告 徳島県鳴門市



舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会
加藤 幸一氏、柳原 茂氏、菊澤 巧氏

- タンチョウに来てもらい長沼町を盛り上げるため、見守り活動を続けている。
- 鳴門市では、れんこんをコウノトリによりブランド化し販売するだけでなく、ツアーも試行されていた。

【座談会での主な意見】

- タンチョウ商品の売れ行きはあまり良くない。地域全体で商品が増えていけば、タンチョウ商品を求めて来る人も多くなるのではないかと。
⇒店頭でPOP等が見当たらず、店員に商品の有無を尋ねたことがある。商品の存在をもっとPRしてはどうか。
- タンチョウも住めるまちづくりの将来の目標像はどのようなものか。
- 経済だけでなく、社会や教育の面でもタンチョウを活用してほしい。
⇒長沼町では、小学校、高校での授業やイベントの開催など、社会・環境教育面でもタンチョウを活用している。